

### 互いの学びを深め合うアクティブ・ラーニング

12月号の特集を読み、アクティブ・ラーニングで効果を上げるためには、発問構成の周到さと力量が求められるのだと感じた。福岡県立小倉南高校の大神弘巳先生が重視すること、自らの発言や態度によって学びの場が変わることを、生徒に経験させる手法に共感する。いかに生徒の人間関係を改善するかという点でも、互いに学びを深め合うことは有意義だろう。アクティブ・ラーニングは単に仲良しになるための学習ではなく、意見や考えの違いから、新たな気づき、価値、発想が生まれる学習ではないだろうか。

〔徳島県・匿名希望〕

### 生徒の関心を学力向上にどう結び付けるかが鍵

12月号の特集で重要な指摘だと感じたのは、座談会で片山学園中学・高校の森内梨絵先生が課題として挙げていた、「アクティブ・ラーニングを取り入れた授業で高まった興味・関心を、入試に必要な学力の向上へどうつなげるか」という点だ。それこそが高大接続改革の鍵であり、大学入試のあり方が問われていると言えるのではないか。

〔愛知県立稲沢高校・林広志〕

### 「教えること」は「コミュニケーション能力の育成にもつながる

12月号「ハートをこがせ！」の石川県立門前高校の「学習サポーター」の取り組みは、教える高校生にとっても有益だ。米沢裕太先生が言われた通り、高校生のアウトプット能

## Reader's VIEW

Volume 6

読者のページ

### 読者の先生方からのご意見を紹介します

力やコミュニケーション能力の育成につながる取り組みだと思う。これは、入試を突破する力の育成にもつながるだろう。

〔岡山県立岡山操山高校・青山聡〕

### 新しい活動の定着は教師の負担軽減がポイント

12月号「指導変革の軌跡」の福岡県立大川樟風高校の記事を読み、ICT活用の教員研修では、正規の研修を増やさず、ミニ研修会を不定期に実施するという手法を採っていた点に、「なるほど」と膝を打った。新しい取り組みを校内に根付かせるための導入時のポイントには、この辺りにあるのかもしれない。

〔滋賀県立草津東高校・堀浩司〕

### 英語力の育成が地方活性化に結びつく

12月号「半歩未来を考える教育オピニオン」は、地方の教員がよく分かっていると思われる「グローバル人材とは何か」について噛み砕いて説明されており、更に、そのような人材をいかに育むかという具体策を知ることが出来た。学問を幅広くそろえて地元学生の需要に応えることは地方の大学にとって大切だと思いが、長崎大多文化社会学部のように、特色ある大学・学部が地方の活性化に結びつくのだと感じた。

〔富山県立富山高校・樋掛雅則〕

教師川柳

厳冬に花開き実る日を待ちて

福島県・臥煙

### 『VIEW21』高校版はウェブサイトでもご覧いただけます！

本誌の最新号、及びバックナンバーは、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイトで公開しております。誌面のPDFや「改良！指導ツール ピフォーアフター」の図版もダウンロードできます。ぜひご利用ください。

詳しくは

VIEW21 高校版

検索

<http://berd.benesse.jp/magazine/kou/>



### 編集後記

◎特集で取材した岩手県立花巻北高校は、可能な限り教師自らが生徒を支える「自前主義」を大切にされていました。これは一見、カリキュラム・マネジメントの観点の1つ、「教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること」に相反します。しかし、外部資源の活用は手段であり、それが目的化するような状況に陥らないためにも、まず、自校の教育目標に照らし合わせて、教師自らが考え、実践し、その上で目標達成の手段の1つとして外部資源を活用することが「自前主義」の背景にあるのだと思いました。(廣田)

VIEW21 2月号 Vol.6

2016年2月12日発行

発行人 山崎昌樹  
編集人 春名啓紀  
発行所 (株)ベネッセコーポレーション ベネッセ教育総合研究所  
印刷製本 凸版印刷(株)  
編集協力 (有)ペンダコ  
執筆協力 中丸 満、二宮良太、長谷川敦  
撮影協力 荒川 潤、川上一生、谷口 哲、ヤマガチイキ  
イラスト協力 伊藤美樹

VIEW21編集部  
〒163-0411 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング13階

©Benesse Corporation 2016

VIEW21

2016  
April  
4月  
Volume 1

次号は  
4月8日発行(予定)  
『VIEW21』高校版は  
年6回の発行です